

発行日 2024年10月16日

環境経営レポート

【レポートの対象期間 : 2023/9/1 ~ 2024/8/31】



白河事業所(第一工場)



白河事業所(第二工場)

NE ToHoKU 株式会社 NE 東北

＜目次＞

1. 環境・品質方針
2. 事業活動の規模
3. EA21推進体制
4. 環境経営目標とその実績
5. 環境経営計画の取り組み計画と評価
6. 環境関連法規制の遵守
7. 代表者による全体の評価と見直し・指示

1. 環境・品質方針

<環境理念>

株式会社NE東北の経営理念のもと、製品安全・環境・品質等のお客様の要求と期待に対応した製品の開発・提供に努めると共に、事業活動のあらゆる面を通して環境保全活動に努め、地域及び社会と共存共栄を計り豊かな未来の創造に貢献する企業をめざす。

<活動方針>

1. 顧客満足の向上が事業活動の原点と考え、常に顧客の観点から事業活動を進める。
2. 環境・品質関連の法規制・顧客要求事項ならび当社が同意する協定等を確実に遵守し顧客満足度の向上、環境汚染の防止を図る。
3. 年度毎の環境目標、品質目標に基づき各部門毎の活動目標を展開し実行することによりプロセスの継続的な改善に取り組む。
4. 環境・品質方針は、当社で働く全ての人に周知するとともに、社外からの要求、その他必要に応じて開示する。

<行動計画>

- ① 二酸化炭素排出量削減に努めます。
電力・ 不要な照明の消灯、エアコンの適正温度管理、OA機器待機電力の抑制に努めます。
・ コンプレッサーの無駄な可動を無くす為、エア漏れは速やかに改善します。
燃料・ エコドライブの推進。
・ 暖房機器の適切な使用を心掛けます。
- ② リサイクルを推進し廃棄物の削減に努めます。
・ 分別の徹底、リサイクル可能な廃棄物は適正に管理します。
・ 単純焼却ゴミを減らす為、ミสปrintの削減、裏紙の積極利用に心がけます。
- ③ 節水に努めます。
- ④ 化学物質を適正に管理します。
- ⑤ 環境関連法規制、当社が約束した事を遵守します。
- ⑥ 5S活動を活性化し自主性を持った人材育成を通じて生産性、品質向上へ継続的に取り組みます。
・ 品質目標 : 不適合率0.5%以下(生産高比)
・ なくそう無駄な動き、注意しよう適正在庫、そして勿体ないの心がけ。

2022.3.4 制定
株式会社 NE東北
代表取締役社長 正田 壽夫

2. 事業活動の規模

1. 事業所及び代表者名

株式会社 NE東北

代表取締役社長 正田 壽夫

2024年11月15日をもちまして、岡本武志が
代表取締役社長に就任しました。

2. 所在地

本社 〒454-0943 愛知県名古屋市中川区大当郎2丁目1107番地

第一工場 〒961-0309 福島県白河市東深仁井田字陣ヶ平15-1

第二工場 〒961-0416 福島県白河市表郷金山瀬戸原24

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者：代表取締役社長 正田 壽夫

環境責任者：緑川 良一

担当連絡先：緑川 良一

TEL : 0248-21-8225

FAX : 0248-21-8235

E-Mail : r-midorikawa@ne-tohoku.co.jp

URL : <https://www.ne-tohoku.co.jp>

4. 対象範囲

第一工場 全組織及び全活動

第二工場 全組織及び全活動

(三相変圧器)



5. 事業内容

トランス及びリアクトルの開発・製造・販売

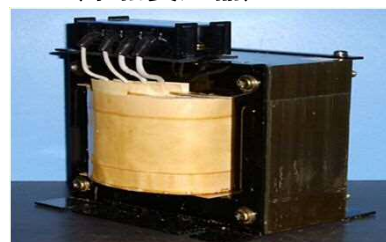
(三相ACリアクトル)



(スコット変圧器)



(単相変圧器)

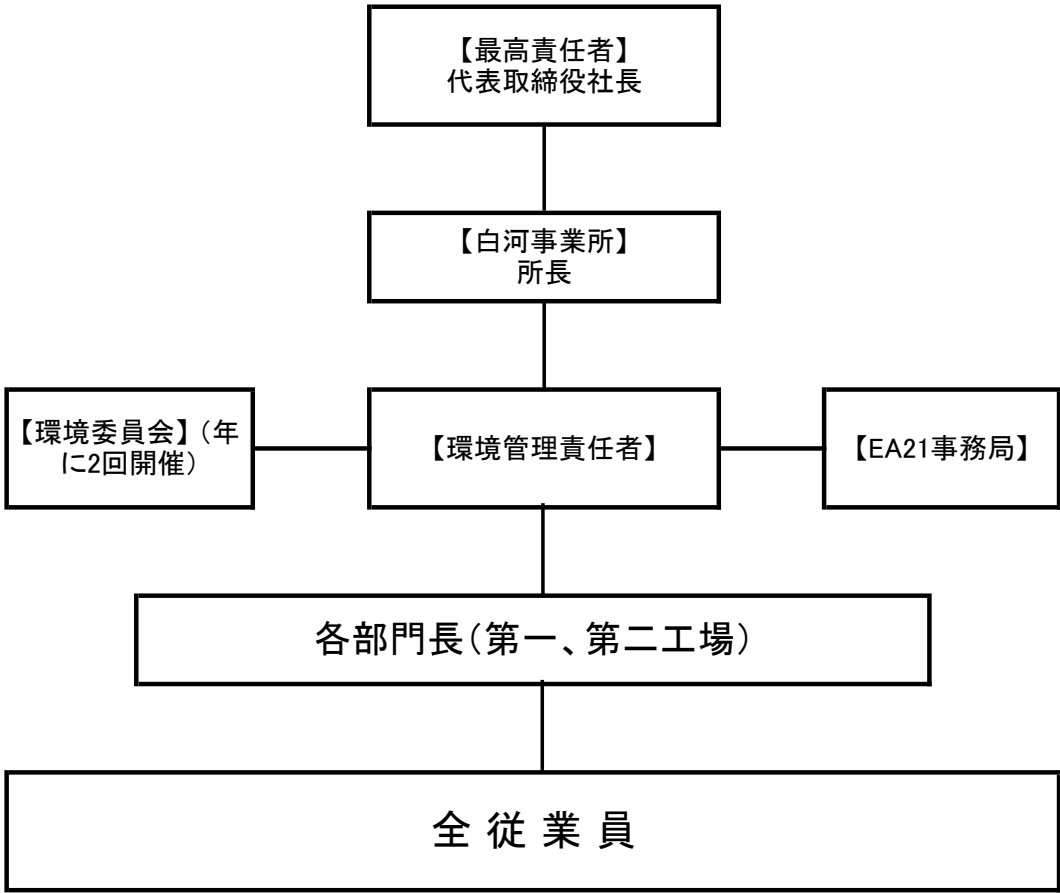


6. 事業規模 (事業年度 9月～8月)

活動規模	単位	第1期	第2期	第3期
		2021年度 12月～8月	2022年度 9月～8月	2023年度 9月～8月
売上高	百万円	93	324	465
従業員数	人	20	23	24
床面積 第一工場	m ²	1312.39	1312.39	1312.39
床面積 第二工場	m ²	812.95	812.95	812.95

3. エコアクション21 推進体制

(2022年3月4日作成)
(2023年6月9日改訂)



職名	役割
最高責任者 【代表取締役社長】	① 環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 ② エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）を準備する。 ③ 環境経営方針を制定する。 ④ エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し 環境経営方針・環境経営目標をはじめシステム全体の見直しを行い 必要に応じ改訂を指示する。
環境管理責任者	① エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。 ② エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。
事務局 【事務局員】	① 事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。
環境委員会	① 最高責任者・環境管理責任者・事務局・部門長で構成し、半年に1回環境管理責任者が召集する。 ② 環境経営目標の設定、環境経営計画の策定及び進捗管理について協議する。 ③ 環境管理責任者が必要と認めた者は出席しなければならない。

4. 環境経営目標とその実績

1. 環境目標とその実績

組織再編により2021年12月1日から新会社となりました(株)NE東北は2021年12月～2022年8月(第1期)の期間については目標管理が出来なかった為実績を表示します。

2022年度(第2期)2022年9月～2023年8月の実績を把握し新たな基準値として、次年度以降の環境目標と実績を管理する。

	2021年12月～ 2022年8月 (1期)	2022年9月～ 2023年8月 (2期)	2023年9月～ 2024年8月 (3期)	中長期の目標	
	参考実績	実績(基準)	実績	次年度	次々年度
				目標	目標
①売上高100万円当たりの二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO2/百万円)	CO2総排出量 kg-CO2	CO2総排出量 kg-CO2	CO2総排出量 kg-CO2	前年度に対して 1%削減	前年度に対して 1%削減
	78635.82	127656.15	91853.31		
	845.55 kg-CO2/百万円	394.00 kg-CO2/百万円	197.53 kg-CO2/百万円		
②廃棄物及び、リサイクル可能廃材の実績把握	一般 kg 1350 産廃 kg 6230	一般 kg 2160 産廃 kg 6747	一般 kg 2400 産廃 kg 5357	廃棄物及びリサイクル可能廃材の実績把握	廃棄物及びリサイクル可能廃材の実績把握
	再資源化 2804 kg	再資源化 4934 kg	再資源化 3881 kg		
③売上高100万円当たりの水資源投入量の削減 (m3/百万円)	水資源投入量	水資源投入量	水資源投入量	前年度に対して 1%削減	前年度に対して 1%削減
	69 m3	158 m3	162 m3		
	0.742 m3/百万円	0.488 m3/百万円	0.348 m3/百万円		
⑤化学物質取扱及び管理の徹底	適切に管理され 法条令も 順 守できている。	適切に管理され 法条令も 順 守できている。	適切に管理され 法条令も 順 守できている。	管理の徹底	管理の徹底
⑥本業に関する 目標 社内不具合・不適合 発生率の低減	生産数 634	生産数 2221	生産数 2625	社内不具合・不適合 発生率0.5% 以下	社内不具合・不適合 発生率0.5% 以下
	発生件数 4	発生件数 25	発生件数 18		
	発生率 0.63%	発生率 1.13%	発生率 0.69%		

* 購入電力の排出係数は、au電気2022年度調整後排出係数0.404kg-CO2/kWhを基準とし使用しています。

2. 主な環境負荷実績

環境への負荷	2021年度	2022年度	2023年度
①二酸化炭素排出量(kg-CO2)	78635.82	127656.15	91853.31
②一般廃棄物排出量(kg)	1350	2160	2400
③産業廃棄物排出量(kg)	6230	6747	5357
④水資源投入量(m3)	69	158	162

5. 環境経営計画の取組み計画と評価

* 当該年度の活動の取組みと評価をしております。

環境経営計画	環境経営計画の取組結果とその評価
1. 二酸化炭素排出量の削減 ①空調温度適正化・表示 ②照明・PC電源不要時のOFFの推進 ③エアコン清掃及び簡易点検 ④エコドライブ推進 ⑤社用車の点検・整備・計画的運行 ⑥電力、ガソリン・灯油量の集計 ⑦コンプレッサー・エアラインの点検 ⑧原因分析と削減方法の検討	・仕事量に対し環境負荷が減っているが、波がある為注意深くEAIに取組んで行く。負荷状況の集計、設備の点検もできている。 ・エアホースは順次交換している事によりエア漏れも減っている。 ・社用車で工場間の材料移動も計画的になりつつあり移動が減ってきている。又、製品の搬入出も計画的になりつつあり工場内の温度変化も少ない。 ・2022年度に対しkg/Co2を原単位49.9%削減で達成。
	次年度の取組内容 ・2024年度は全従業員で無駄を意識しつつ効率良く本業に取組んで行く。社用車の計画的な運行を意識して行く。
2. 廃棄物及びリサイクル可能廃材の把握 ①分別ルール of 徹底 ②廃棄物置場の整備、整理、整頓 ③リサイクル廃材の実績集計 ④廃棄物の実績集計 ⑤原因分析と削減方法の検討	・集計は出来ているが一般廃棄物の量は時々の平均で出しているため精度は甘い。 ・ゴミの分別は出来ているが、捨て方を見直したい。 ・リサイクル買取廃材の実績を集計することにより分別意識が高まっている。
	次年度の取組内容 ・より一層、廃物置き場の整備、整理、整頓、廃棄方法の更新を図る。
3. 水資源投入量の削減 ①毎月のメータの確認(漏水防止) ②節水表示(手洗い場・トイレ) ③使用量集計 ④水漏れがないか確認 ⑤原因分析と削減方法の検討	・使用量の集計は出来ている。 ・節水の表示はされている。 ・2022年度に対し原単位で28.7%削減で達成。
	次年度の取組内容 ・水使用量が少なくても無駄の無いよう節水及び施設管理に取り組む。
4. 化学物質取扱及び管理の徹底 ①新規取扱材料のSDSの入手 ②取扱材料(化学物質含有)の把握 ③PRTR法該当物質の使用量を把握 ④適正に管理されているかの確認 ⑤局所排気装置の点検、清掃	・取り扱い化学物質は把握できている。 ・新規取り扱い有機溶剤もSDSを入手している。 ・保管場所は管理されている。
	次年度の取組内容 ・今後も適正管理及びSDSを有効活用し法令順守に努める。
5. 本業に関する目標 ①社内不具合・不適合発生率の低減(発生率0.5%以下)	・0.69%で未達成。 ・5S活動による継続的改善。→作業環境は設備投資によりかなり良くなっている。 ・作業手順(作業履歴)が順次作成されている。
	次年度の取組内容 ・仕事量も増えて来て不適合を出さないことも大事だが事故、怪我の無いよう集中力をもって仕事に取組んで行く。

6. 環境関連法規制の遵守

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守事項	遵守状況
騒音・振動規制法	福島県生活環境保全条例	遵守
浄化槽法	保守点検実施、法定検査実施	遵法
廃棄物処理法	委託基準(契約書・許可証)、マニフェスト交付・保存及び交付状況報告	遵法
フロン排出抑制法	簡易点検の実施、点検等の履歴の保存	遵法
PRTR法	対象化学物質の届出	遵法

2. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2024年9月5日の環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。

尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

7. 代表者による全体の評価と見直し・指示

1. 評価

- ・従業員の意識付けは高まっているが改善意識が必要である。
- ・5S活動も含めた意識付けを行う。(親会社も参画)

2. 環境方針・目標・計画・システムの構築

- ・2026年8月に新社屋が完成し移転する。
新社屋: 布目電機(株)東北工場内にNE東北が入る。
方針・目標・計画について整合を図る。